



式 辞

大阪建設機械リース協同組合

理事長 北野 一雄

“英知を結集し、さらなる発展へ”

組合を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げます。

大阪建設機械リース協同組合は今年創立50周年を迎えることとなり、本日ここ帝国ホテル大阪において記念式典を開催できますことを組合員一同、大きな喜びといたすところであります。

本日は、国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪市をはじめ関係諸官庁、ならびに上部団体、友好団体、業界団体、さらに海外からアメリカンレンタル協会のご代表、そして賛助会員の皆様におかれましては、公私とも何かとご多用にもかかわりませず、ご光臨の栄を賜り盛大に開催できますこと、衷心より厚くお礼申し上げます。

かえりみますと、当組合は、昭和32年に大阪建設機械商組合として、発足以来50年、半世紀という長い歴史の中で幾多の変遷を経験し、それぞれの時代の流れに対応してまいりました。

特に、建設工事における機械化の進展の中で、東京オリンピックや大阪万国博覧会を契機に、建設機械器具レンタルの需要が急速に高まり建設施工における重要な役割を担う業種として、急成長を遂げてまいりました。

これにともないユーザーのニーズも年々多様化し、こうした中で、当組合は、積極的に組合活動を推進することにより組合員相互の連帯を計り、各企業の資質の向上に努めてまいりました。

私達の大阪は、建設機械器具レンタルの発祥の地と言われておりますが、本日の式典を迎え、また、昨今の業界並びに組合の発展を見るにつけ、いかに歴代理事長をはじめ先人諸兄に先見の明があったかと改めて感じ、敬意を表すところであります。

現在私共の建設機械器具レンタル業界は、公共工事の縮減や価格の低迷により、極めて厳しい経営環境に直面しております。50周年を契機に今こそ組合員がより大同団結し、英知を結集して、この困難な時代を乗り切りたいと決意を新たにいたしております。

建設機械器具レンタルは、今後もユーザーの要望やレンタル依存度の増大、環境問題等も含めて業界の果たす役割は、さらに重要性を増すことが予想されております。こうした中で、私達は従来以上に企業努力を重ねてまいります。そして、組合組織の強化と建設機械器具レンタル業界の社会的・経済的地位の発展向上を目指して組合員一同邁進いたします。

皆様におかれましては、今後とも倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。お礼のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。